



「上質なものを大事に着ていく時代です。久留米絣が二十一世紀の衣を担っていくと信じています」



大量生産と使い捨ての20世紀型価値観から、もったいない精神に基づいた21世紀型の暮らしへのシフトを目指し、久留米絣がその一端を担うと考える。絣の洋服を製作する傍ら、織元とのコラボ展示会や市民参加型ファッションショーの運営、観光ツーリズムのコーディネート、地元企業との協働商品開発などに携わる。

久留米絣みらい研究室 COPPOLART (コッポラート) 古賀 円
TEL: 090-1701-5787

Kasuri new wave

～新たな絣に挑戦するヒト・モノを紹介します～

久留米絣の洋服をデザインして商品化、さらには、全国イベント販売に出向き、マーケティングリサーチをしながらその反応を織元さんへフィードバックする。「行商に行っています」と笑う古賀円さん。

十二歳の時、家にある絣を見ながら、どうして他の服はボロボロなのに、この洋服だけがいつまでもボロボロではないのか？それを夏休みの自由研究にした。そうした久留米絣への興味と関心が、今の絣デザイナーの古賀さんを誕生させた。

「なぜ二百年もこの生地がこの地に残っているのか、それを探りながら日本の暮らしをメイドインジャパンに変えていきたい。ホンモノが家にある環境と無い環境では大きく違います。家に久留米絣がある暮らしを提案していきたいと思います」

古賀さんは、「藍は心を落ち着かせるリラックス効果があるんです」と、服の他にも身近な小物やインテリアなどもデザインし、絣のある暮らしを提案する。

久留米絣が今も伝わる豊かな暮らし

先の東北の震災は古賀さんにとって転機となった。電力削減のため世の中はクールビズ。

「涼しくて着やすい、自宅で洗える手軽さ、クールビズにぴったりの久留米絣を今すぐ広めなきゃ！」

と一念発起し、東京から帰省。全国に目を向けて

より活動を広めた。

「モノよりもコトを売るんです」

それは、ファッションショーによる着こなしの提案、つくり手の背景や想い、藍や手織りの伝統的な魅力。

「柄と仕立て、デザインの三位一体により自分だけの服が生まれます。衣類の大量生産・大量消費の時代はもう終わりました。上質なものを大事に着ていく時代です。久留米絣の柄の多様性、生地の耐久性、手織りの柔らかな風合い、洗うほど熟成して美しくなる藍。ぜひ、それらの良さを五感で感じてほしい。きっと久留米絣は二十一世紀の暮らし方として、衣食住の衣を担っていくと思います」

モットーは、『絣が1メートルでも動くことは何でもする』。古賀さんは久留米から全国へ発信し続ける。

「都会は何でもあるけれど、果たして本当に豊かなのだろうか？幸せの物差し(価値観)は都会と久留米では違う気がします。久留米絣が今も受け継がれているこの地からもうパワーはすごい。この豊かな暮らしを全国に提案していきたい。絣の時代が来る！今、その手ごたえを感じています」

「Coppolart 秋の装い展」

とき 2016年9月9日(金)～11日(日)

ところ 地場産くるめ2F展示ギャラリー



十八模様は久留米かすりのシンボルとしてあらゆるシーンに活用していきます。



久留米かすりファン倶楽部 季刊誌 vol. 20 夏号

CONTENTS

- 1p・Kasuri new wave
- 2p・かすりの小径の小さな物語
- 3p・絣ショップ&カルチャー
・絣イベントINFO
- 4p・第19回 藍・愛・で逢いフェスティバルイベントレポート
・かすりすと会員プレゼント
・絣織元登場 山下織物 山下喜未輔さん
・地場産くるめ
SHOP INFORMATION

「単純に自分がいちいち着心地が良かったから皆さんにお勧めしています。まずは試着して実感していただきたい」

古と現代をつなぐショップ

来店される方の中にはリピーターも多いそうです。
「つくる工程や人を直接ここで見せることができない分、視覚的にわかるように商品を展示し、情報を収集・発信したいと思っています。来店されて、八女筑後地域にこういうモノ（伝統工芸品）があることを知っていただきたい。実は何でもモノが揃う地域だということに気づいていただきたいです。こうした伝統工芸品を現代に使用してみてもうだったのか、作り手にフィードバックする、そんな役目もある店だと思っています」



◎大もんぺ博覧会

東京展 | 渋谷ロフト | 6月9日(木)～6月30日(木)
福岡展 | 松楠居 | 7月16日(土)～7月24日(日)



お問合せ／うなぎの寝床

福岡県八女市本町267

*カーナビ検索の場合はこちらの住所

「福岡県八女市本町西古松町264」を入力してください。

店休日／月、火、水（祝日営業）※出張などの臨時休業あり。

営業時間／11:30～18:00

TEL.0943-22-3699 FAX.0943-24-8063

✉ u-info@unagino-nedoko.net

写真のノートカバーは見本です。



講師 榎原亜希さん

講師 教室のお問合せ／希 nozomi sewing

TEL.090-9589-9799(～希～)

かすりの小径の

小説くるめんあきんど物語 4

「明治を駆けた木綿売り ～国武喜次郎伝～」

著者 古賀勝氏に聞く

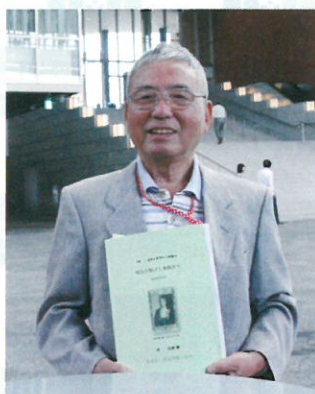
国武喜次郎伝をはじめ「くるめんあきんど物語」4部作を書こうと思われた動機は？

現職の時代（RKB毎日放送久留米支社長）、筑後地方の歴史にまつわる番組を企画制作していました。定年退職後、同郷の知人友人へのメッセージとしてホームページを週1回のペースで更新するようにしました。

その中で、筑後川流域の歴史や人物を描きたいと思い立ち、最初に書いたのが「大河を遡る〜九重高原開拓史」（西日本新聞社刊）でした。

その後、倉田雲平、小川トク、井上伝、国武喜次郎など郷土の人物伝をホームページに描きました。

くるめんあきんど物語1部たび屋の雲平を平成25年に出版、26年に2部、織屋の伝、27年3部、まぼろしの久



くるめんあきんど物語の著者 古賀勝さん

留米稿、そして今年2月、4部作目の明治を駆けた木綿売り〜国武喜次郎伝が完成しました。

喜次郎が生きた時代はどんな時代だったのでしょうか？

国武喜次郎（1847〜1927）が生きた時代は、江戸の末期から昭和初期までの時代。大政奉還、明治維新と時代の大きな変わり目に生きました。久留米も時代の転換期でした。明

治6年は久留米の商業の開花期であり、旧暦から新暦に切り替わった時代です。久留米の木綿織物業は明治6年6万反だった織物は明治末期には100万反を数え、大正期まで商都久留米の基幹産業となりました。その間、小川トクが考案した「久留米縞織」の産業化、西南戦争後の粗悪品生産の汚名を返上するべく、政府主導で設立された同業組合など久留米の新しい商売のカタチが作られました。

同時代にはどんな人物が久留米で活躍しましたか？

この4部作に登場する人物の他に、藍胎漆器の川崎峰次郎、しまや足袋の石橋徳次郎（初代）、久留米つじの赤司喜次郎が活躍します。久留米は基幹産業としての木綿業（久留米縞・久留米

縞）からゴム産業への発展と、商業都市として久留米の地場産業の変遷をここに登場する人物達の生き様と息づかいで窺い知ることが出来ると思います。

次の時代の久留米の顔は？

国武商店の精神そして近江商人のDNAを受け継ぐオカモト商店、つちや足袋、しまや足袋を起源とするゴム産業のムーンスター、アサヒコーポレーション、ブリヂストンと久留米の顔は、木綿業、ゴム産業として久留米の顔をつくってきました。

21世紀の久留米の顔はどのように形作られていくのか、久留米2000年の「くるめんあきんど」の歴史をひも解くことによって次のカタチが見えてくるのではないのでしょうか！

聞き手 筒井博文

絆イベントINFO

つるフェス 展示販売会

日時 2016年6月16日(木)～19日(日)

11:00～19:30 ※最終日は18:00まで

場所 Gallery Earl Gray

【ギャラリーアールグレイ】

(福岡県久留米市通町111-18)



◇まきまきポーチ

日時／16日(木)・19日(日)12:00～(4時間程度)

参加費／4,500円(材料費込、ケーキセット付)

定員／5名

数寄屋袋風の、タブレットが入るくらいの大きさです。紐でまきだめ出来てサイズが変わるので使い勝手のいいポーチです。津留織物の布をつなぎ合わせて、自分だけのポーチを作りましょう。

◇絆でベスト

日時／17日(金)・18日(土)

11:00～18:00(最終受付17:00)

参加費／9,800円(材料費込、ケーキセット付)

※予約優先

お気に入りの絆を選んで直線縫いでできる「ベスト」を作ってみませんか?

※ミンを使って1～2時間程度

◇イベント&ワークショップ

◇抹茶deこっぼら〜と

日時／18日(土)12:00～16:00

参加費／500円(お抹茶とお菓子)

カラフルな絆に囲まれて、ちょっと一息。八女のお抹茶と特製お菓子でゆるりと一服いかがでしょうか?

◇GALLERY NIGHT by 株式会社峰ワイン×織Labo

「きっかけの町、広川。」

日時／18日(土)19:30～

会費／1,600円(ワイン3種&軽食)

当日受付／先着20名

絆産地広川町が制作した居住プロモーションムービーを見ながら、地方創生について語り合います!

【参加ブランド】ちえぞう／西原糸店／humanite／Coppolart
～ 希 ～／手でつくる／kurume kasuri textile

お問合せ／つるフェス実行委員会 TEL.090-3419-0447

久留米大学 文学部プロジェクト

「はじめてのくるめかすり ―私たちの伝統と継承―」

日時 2016年6月25日(土) 14:30～19:00

場所 久留米市東町 一番街「風のおくりもの」～ほとめき通り商店街

久留米絆組合連合会、「風のおくりもの」さん、着付けボランティアの皆さんを始め、久留米の方々に関わりながら、久留米絆の着付け、久留米絆を着用し、立ち居振る舞いを学んだ久留米大学文学部の学生が、久留米絆を着て、久留米ほとめき通り土曜夜市オープニングセレモニーに参加後、夜市を散策します。



平成28年度有馬記念館 企画展

久留米の装い - 勾玉から絆まで -

日時 2016年6月4日(土)～9月12日(月)

10:00～17:00(入館は16:30まで) ※毎週火曜日休館

場所 有馬記念館(福岡県久留米市篠山町444 久留米城跡内)

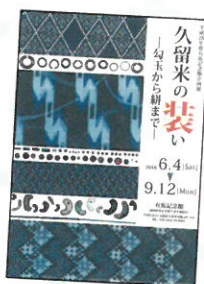
入館料 高校生以上 200円 小・中学生 100円

※毎週土曜日は高校生以下無料

※身体障害者手帳・療育手帳の交付を受けている方及びその介護者については無料(受付にて提示)

弥生時代の勾玉から、現代に織り継がれる絆まで、久留米の長い歴史とともに生み出され、残されてきた「装い」にまつわる品々を紹介。

お問合せ／TEL&FAX.0942-39-8485



絆ショップ

うなぎの寝床



左から店長 春口丞悟さんと代表 白水高広さん

久留米絆の『もんぺ』が揃った 手づくり品の店『うなぎの寝床』

八女の伝統的町並みの一つ(かつて提灯屋)をリノベーションしてつくられた、八女筑後手づくり品アンテナショップ&ショールーム『うなぎの寝床』。明治後期の建築、すでに百年を越える建てものです。

昔ながらのおおどろしとみどろ(はり)の大戸や蔀戸を残す入口から中に入ると、広がる土間。天井には大きくしっかりとした梁。そんな落ち着いた和の空間に、い草によるゴザ、靴、竹細工など70組もの作家の商品が展示即売されています。

その中の人気商品の一つが久留米絆のもんぺ。約五十本が並べられており、カラフルで、絵柄も一つ一つ違います。

「久留米絆は吸収性、触感性に優れ、風通しがよく、着心地がいいのが魅力。もんぺは昔の服のイメージでしたが、実際に産地に行ってみると、様々な柄で現代に受け入れられるいろんな商品が生まれています。老若男女、幅広い世代にはいてもらえるのでは…と思います」

と、代表の白水高広さんは話します。白水さんご自身ももんぺの愛用者。

のぞみ ～希～の「絆でノートカバー」作り

日時 2016年9月10日(土)13:30～15:30

場所 地場産くるめ(久留米市東合川5丁目8-5)

講師 檜原亜希

定員 12名(要予約)※定員になり次第締め切ります。

参加費 3,600円(材料代込・お茶付き)

A5サイズのノートや単行本のカバーにも使える大きさ。お好きな絆の柄を選んで、ちくちく楽しみながらオリジナルカバーを手作りしませんか?今回、～希～オリジナルA5サイズノートつきです。

お申込・お問合せ／TEL&FAX.0942-44-3700

第19回 藍・愛・で逢いフェスティバル イベントレポート

2016年3月19日(土)、
20日(日)に地場産くるめ
で行われた第19回藍・
愛・で逢い フェスティバ
ル、出店ブース、久留米
絣活用製品企業コー
ナー、久留米絣新作発
表会、久留米絣ファッ
ションショーなどが開催
され、今年も多くの絣
ファンで賑わいました。



かすりすと会員プレゼント

うなぎの寝床のコースター(2枚セット)を3名様、絣織元登場で紹介した山下
織物さんの絣の生地(1m・1枚)を5名様にプレゼント。
応募方法はハガキで住所・氏名・年齢・ご希望のプレゼントを明記の上、かす
りすと紙面への感想、今後取り上げて欲しい話題などご記入の上、下記の
住所へお送り下さい。



A うなぎの寝床／コースター(2枚セット) 3名様 B 山下織物／絣の生地(1m・1枚) 5名様

応募締切／7月13日(水) 必着

※応募多数の場合、抽選となります。プレゼント当選は発送をもってかえさせていただきます。

※山下織物の絣の生地の柄は選べません。ご注意ください。

宛先／〒839-0809 福岡県久留米市東合川5丁目8番5号

地場産くるめ「かすりすとプレゼント」係

絣織元登場 創る

手間暇かけた工程が
やさしく細やかな
文人柄を生み出す



山下織物 山下 喜未輔さん



工房内の動力織機

山下織物

〒834-0115

福岡県八女郡広川町新代1736-1

TEL.0943-32-0005

創業明治二十五年になる織元
「山下織物」。三代目となる山下
喜未輔さんは十九歳の頃からこの
道に入り、五十三年間織りに携わ
ります。
柄をつける時の技法の一つ「括
り」をせずに、手織りの生地を染
め、ほどいた時に色抜きの部分が
できる「織りぬき絞め」という技
法を用いています。染める生地が
手織りでなければ固すぎて柄が
均等に入りにくくなります。織
り手の加減が大事。そうしてでき
た織糸を動力織機で織り、小柄
模様「文人柄」の久留米絣が出来
上がります。

現在、工場では十台の動力織機
が五十年以上も動き続けていま
す。かつて、喜未輔さんの祖父、山
下喜次郎さんが、織りぬき絞めし
た糸を動力織機で織り、小柄
模様「文人柄」の久留米絣が出来
上がります。

伝統の技法は残しながらも
常に新しい工夫を

「柄が似ている大島紬を見学に
行ったりしながら、デザインや織の
表現を研究しています。昔ながら
の白・紺の柄もいいですが、今の時
代に合わせて少しずつ色を入れて

た絣糸を織機によって製品化でき
ないかと、何度も失敗しながらよ
うやく織動力織機を発明し特
許を取得。しかしすぐに戦争が
始まり、鉄が徴収される時代に突
入。二代目喜未男さんの代で、動
力織機による製品化を確立。細
やかな文人柄は山下喜未男さん
の名前から「山喜文人」と呼ばれ
るようになりました。

現在、喜未輔さんはその技法を
受け継ぎ、より手織りに近い製品
化を目指しています。卸問屋さん
が「文人は永久に不滅」というほ
ど、今も人気の高い柄です。
「手織りをして、ほどこいて、最後
の織りだけを動力織機を使うつ
くり上げるので、手織り以上に手
間暇かかっています。それだけに
よそにはない良さがあります。『い
いものは残る』その言葉を支えに、
伝統の技法は残しながらも常に
新しい工夫をしていき、より手織
りに近い製品をつくってきたいと
思います」

文人柄のシャツを着てみた喜
未輔さんはこう話していました。

地場産くるめ SHOP INFORMATION

地場産くるめ クールビズ・久留米かすりシャツ セミオーダー会

期間／～6月30日まで 場所／地場産くるめ

地場産くるめでは、2階展示即売場にて、久留
米かすりシャツ・セミオーダー会を開催中です。男
性用の半袖ボタンダウンシャツ、半袖開襟シャ
ツ、女性用七分袖ブラウス、半袖ブラウスなど約
100柄の絣生地から選べます。価格はセミオー

ダー1着で17,200円です。但しかすりすと会員
は10%OFFにて販売しています。またオリジ
ナル日傘(18,500円)もお好きな絣生地を選んで
セミオーダーできます。今年は久留米かすりです快
適な夏を過ごしてみませんか!

久留米かすりシャツ(1着).....
.....17,200円
男性用 (M・L・2L)
女性用 (S・M・L)
オリジナル日傘.....
.....18,500円

※かすりすと会員は10%OFF



ふるさと「頑張り屋」です!

地場産くるめ

公益財団法人久留米地域地場産業振興センター

地場産くるめ 東合川店

地場産くるめ TEL.(0942)44-3700 FAX.(0942)43-1020

営.10:00～17:00 ※展示即売場コーナーは地場産くるめ2Fにございます。

毎月11日は「いい日地場産の日」開催! 毎月11日は全品11%OFF (一部商品除く)

地場産くるめ JR久留米駅店

地場産くるめ JR久留米駅店

TEL.0942-27-5510

営.7:00～19:00